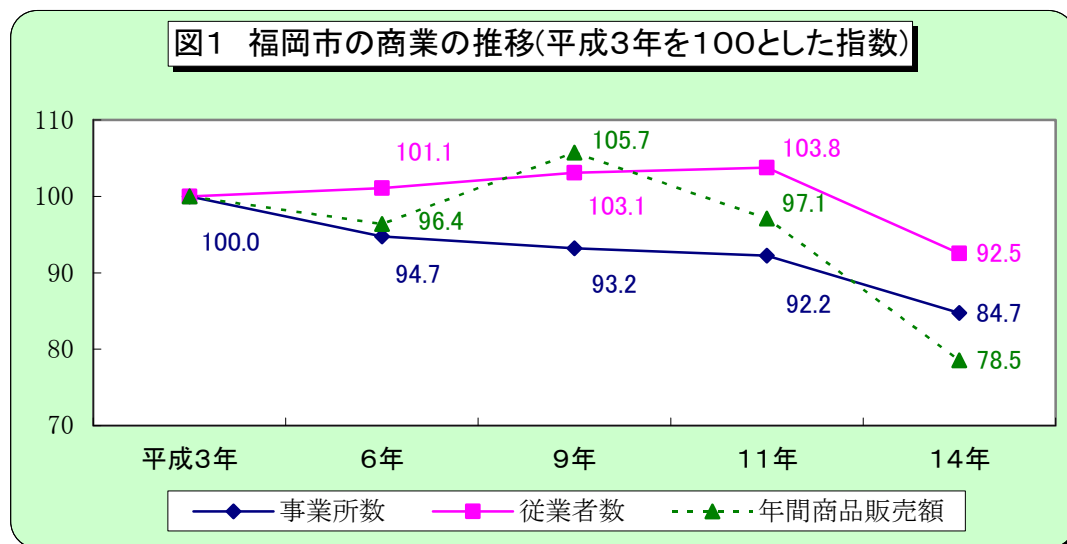


平成14年商業統計調査結果の全体傾向の解析

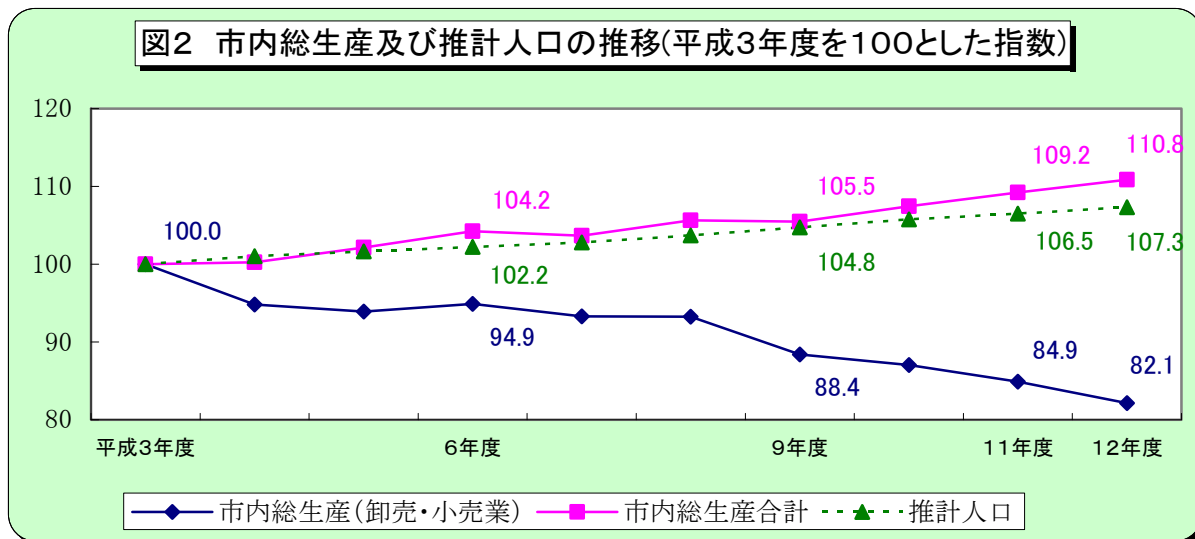
平成14年商業統計調査結果の全体傾向を過去約10年の変動及び従業者の動向を中心に解析したもの。なお小地域、各業種クロス分析等は、後日「福岡市の商業」として公表する。



○平成3年の指数を100とした平成14年の指数についてみると、事業所数は平成3年をピークに84.7、従業者数は平成11年をピークに92.5、年間商品販売額は平成9年をピークに78.5となっている。

指数的にはバブル期以前の値に近い数値である。

○平成11年から平成14年にかけての減少が顕著であり、事業所数は1,938事業所減少(8%減)、従業者数は23,961人減少(11%減)、年間商品販売額は3兆3,132億円減少(19%減)している。全国的にも同様に減少傾向である。(別紙「平成14年商業統計調査結果概要」参照)

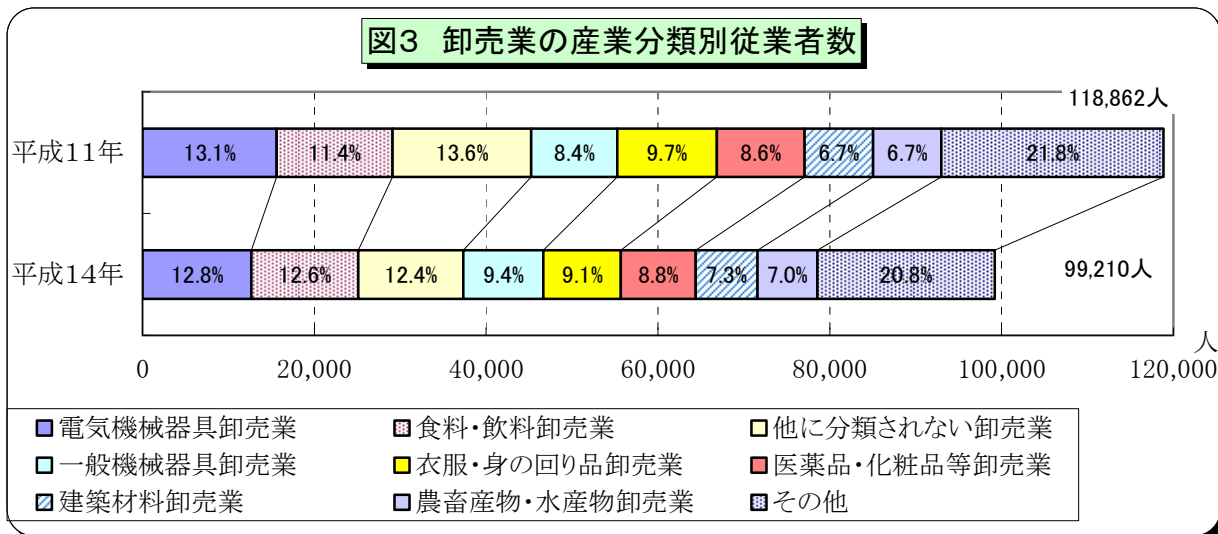


○福岡市の人口及び市内総生産の推移との関連を指数で比較すると、人口は、平成12年は107.3、市内総生産合計は、平成12年度は110.8にアップしているが、卸売・小売業の市内総生産は平成3年度をピークに下落、平成12年度は82.1に下落している。

○人口、市内総生産がアップしているなか、卸売・小売業の従業者数、市内総生産が減少しているのは、産業構造の変化によるものと解せられる。

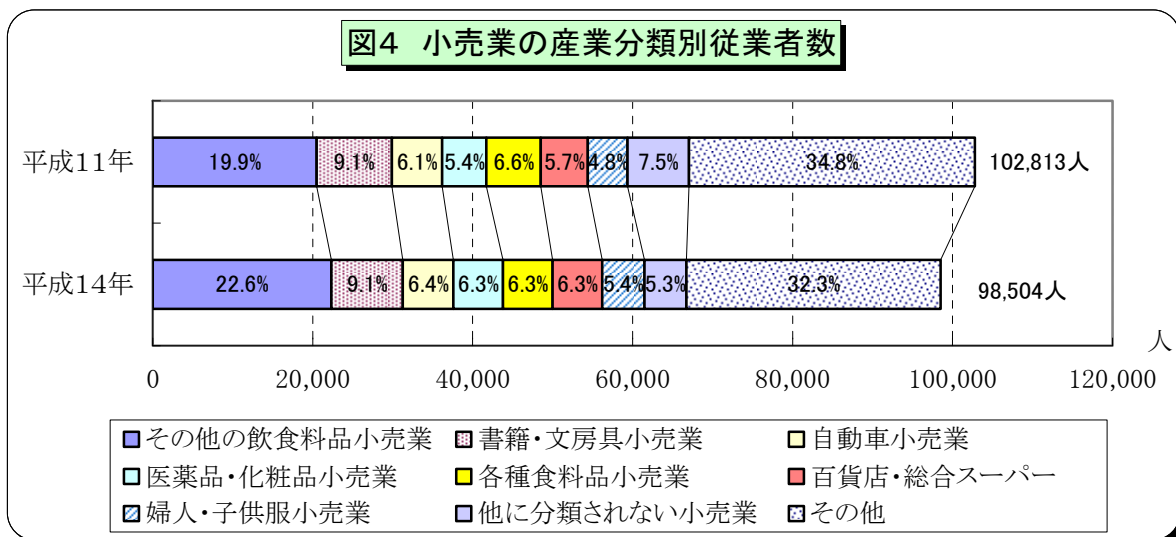
* 市内総生産：市内における経済活動の結果生み出される付加価値の総計

○卸売業の従業者数は17%減。産業別では文具、スポーツ用品等「他に分類されない卸売業」の減少数が最多



○卸売業の従業者数は99,210人(前回比19,652人、16.5%減)。全産業分類で減少。
 ○産業別構成比は、①電気機械器具卸売業(12.8%) ②食料・飲料卸売業(12.6%) ③他に分類されない卸売業(紙製品、文具、スポーツ用品、花、金物等)(12.4%)の順。
 ○従業者数の減少数は多い順に、①他に分類されない卸売業(-3,900人) ②電気機械器具卸売業(-2,925人) ③衣服・身の回り品卸売業(-2,554人)の順。

○小売業の従業者数は4%減。産業別では花、貴金属、たばこ等「他に分類されない小売業」の減少数が最多



○小売業の従業者数は98,504人で、前回比4,309人、4.2%減少している。
 ○産業別構成比は、①その他の飲食料品小売業(コンビニエンスストア、料理品、飲料等)(22.6%) ②書籍・文房具小売業(9.1%) ③自動車小売業(6.4%)の順。
 ○従業者数が減少したのは、①他に分類されない小売業(花、貴金属、建築材料、たばこ等)(-2,474人) ②機械器具小売業(-1,174人) ③酒小売業(-934人)など20業種。
 増加したのは、①その他の飲食料品小売業(+1,808人) ②医薬品・化粧品小売業(+691人) ③その他の織物・衣服・身の回り品小売業(かばん、下着類、小間物等)(+374人)など8業種。

〇本市の卸売業は13大都市中第4位、小売業の事業所数・年間商品販売額は第7位

表1 13大都市の業種別事業所数、従業者数、年間商品販売額及び推計人口等

都 市	総 数						卸 売 業					
	事業所数		従業者数		年 間 商 品 販 売 額		事業所数		従業者数		年 間 商 品 販 売 額	
		順位		順位		順位		順位		順位		順位
					十億円						十億円	
札幌市	18,417	8	190,675	6	10,243	5	6,476	6	74,791	5	7,979	5
仙台市	14,064	11	129,100	10	8,471	8	5,413	8	59,534	9	7,188	7
千葉市	8,015	13	79,601	13	3,663	11	1,922	12	24,442	12	2,627	11
東京都区部	142,210	1	1,435,279	1	168,968	1	51,438	1	846,290	1	156,183	1
川崎市	10,324	12	84,396	12	2,828	13	1,866	13	19,396	13	1,687	13
横浜市	29,419	4	256,785	4	9,677	6	6,560	5	71,394	6	6,059	8
名古屋市	38,731	3	348,381	3	29,047	3	15,190	3	189,041	3	25,868	3
京都市	24,699	5	172,990	7	5,570	10	6,113	7	61,590	7	3,564	10
大阪市	62,809	2	570,771	2	48,619	2	26,251	2	355,338	2	44,095	2
神戸市	20,479	7	148,028	8	5,718	9	4,927	10	48,312	10	3,943	9
広島市	15,499	9	136,326	9	8,683	7	5,255	9	60,378	8	7,275	6
北九州市	15,407	10	99,364	11	3,092	12	3,019	11	29,264	11	1,978	12
福岡市	21,943	6	197,714	5	14,002	4	8,027	4	99,210	4	12,193	4

都 市	小 売 業						推計人口 (14年6月1日)		昼間人口 (12年10月1日)	
	事業所数		従業者数		年 間 商 品 販 売 額					
		順位		順位		順位		順位		順位
					十億円					
札幌市	11,941	9	115,884	5	2,264	5	1,842,654	5	1,820,757	5
仙台市	8,651	11	69,566	11	1,283	10	1,017,966	11	1,090,162	11
千葉市	6,093	13	55,159	13	1,036	13	901,917	13	858,702	13
東京都区部	90,772	1	588,989	1	12,785	1	8,270,392	1	11,125,135	1
川崎市	8,458	12	65,000	12	1,140	11	1,279,374	9	1,097,090	10
横浜市	22,859	4	185,391	3	3,618	3	3,489,694	2	3,091,166	3
名古屋市	23,541	3	159,340	4	3,179	4	2,183,223	4	2,514,549	4
京都市	18,586	5	111,400	6	2,005	6	1,467,236	7	1,584,626	6
大阪市	36,558	2	215,433	2	4,524	2	2,618,508	3	3,664,414	2
神戸市	15,552	6	99,716	7	1,776	8	1,509,072	6	1,536,716	7
広島市	10,244	10	75,948	9	1,408	9	1,133,289	10	1,163,405	9
北九州市	12,388	8	70,100	10	1,114	12	1,006,619	12	1,044,966	12
福岡市	13,916	7	98,504	8	1,809	7	1,365,246	8	1,531,174	8

〇13大都市(政令指定市及び東京都区部)の中では、本市は人口は8番目。昼間人口でも8番目であるが、京都市、神戸市との差は僅少である。

〇卸売業は事業所数、従業者数、年間商品販売額とも第4位。小売業は事業所数、年間商品販売額は第7位、従業者数は第8位を占める。

〇本市は卸売業のウェイトが高く、東京都区部、大阪市、名古屋市に次ぎ、他のブロック拠点都市(札幌市、仙台市、広島市)と比べても上位にある。